

うつのみやこども賞だより

平成19年度 第4回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

～読んだ本の感想より～

《今月選ばれた本》

「マキの廃墟伝説」山中恒 / 作 (理論社)



読み出したら止まらない本でした。マキの最初の設定が面白いと思いました。

こわいところもあったけど、内容がとても面白かった。

マキが事件を解決する所が面白くて、特にマキのパスワードがへんでこで面白かったです。

マキが幽霊になった人たちの頼みや願いをきいてかなえる、というところがすごいと思った。

マキのお姉ちゃんがオカルト好きで面白かった。

私もホーンテッドシティーに行ってみたくになりました。ちょっとこわかったけど面白かったです。

ハラハラしたりドキドキしたり、いろいろな気持ちになれました。

「月へのぼったケンタロウくん」

柳美里 / 作 (ポプラ社)

ケンタロウくんはいろいろなことを覚えて幸せになっていくんだなあ、と思いました。

続きをつくってほしい。

子どもっぽくて、大人っぽい話でとてもよかったです。ケンタロウくんの見る夢も面白かったし、最後の場面は感動しました。

いつ月へのぼるのかハラハラした。

ケンタロウくんはたいへんな苦労や冒険をしたけれど、最後はおじいさんに会えてよかった。

少し悲しかったけれど、おじいさんとお母さんの会話、ケンタロウくんの話し方が工夫されているなあと思いました。

「みどパン協奏曲」

黒田六彦 / 作 (BL出版)

拓斗ががんばれたところがよかった。

拓斗と瞬平太と一緒に住んでいるうちに仲がよくなって、つらくても友達がいるといいなと強く感じました。

登場人物の感情がよく表れていて瞬平太と拓斗の息がだんだんあっていくのがよく分かりました。

大会で目標は達成できなかったけれどとても楽しそうでした。

瞬平太と拓斗のきずなが1本のひものように1つになったと思う。拓斗の過去はかわいそうだと思った。

「ラベンダー」

あいはらひろゆき / 作 (教育画劇)

初めて会った時にはぜんぜん仲良くしようとしなかったハナが、だんだんゆきと仲良くなって2人ともよかったと思う。

今年の夏、ラベンダーという本に出会えてよかったです。

おばあちゃんちに遊びに来たハナとお母さんを失ったユキが友達になってしまうところが良かった。

ユキちゃんは、体も強いけど心も強いと思った。

東京から来たハナと無口なユキちゃんが友達になれたところがすごいなあ、と思いました。